

実践『ペルソナ』通信 (No.75)
「女子大学生のヘアスタイル」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「女子大学生のヘアスタイル」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科(担当:竹内光悦)」、「経営学(担当:篠崎香織)」、「マーケティング(担当:斎藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、多くの学生が長めのヘアスタイルで、暗めの髪色にしていることがわかった。髪を染めた経験がある人は全体で8割を超え、美容院に行くと染める人が大半であった。美容院に行くきっかけとしては、カットとカラーが多数を占め、髪質を気にしている人が最も多かった。自分で髪の手入れをしている人は7割以上で、暗い髪色が多い一方で髪色を変えることによって個性を出すなど、様々な人がおり、それぞれヘアスタイルにこだわりがあることがうかがえる結果となった。

調査結果のポイント

(1) 女子大学生の約半数がミディアムヘアである

アンケートに回答してくれた女子大学生のうち約半数の47.6%の学生がミディアムヘアであることが分かった。また、ロングヘアと回答した学生が全体の27%と二番目に多く、女子大学生は肩より長いヘアスタイルを好む傾向である。

(2) 髪色でもっとも多いのは暗い茶色である。

129件の回答のうち45%の人が現在暗い茶色をしていることが分かった。次に多かったのが明るい茶色、その次に黒であった。暗い茶色と黒色を合わせると約70%を占めている。ここから女子大学生は比較的落ち着いた色で染めていることがわかる。その一方で明るい茶色を好む人も2番目に多かったため、髪色で自分の個性を出していることもうかがえる。

(3) 髪を美容院で染める人の割合が多い。

髪の色を染める際美容院に行くと答えた人は約9割も占めており、美容室に1か月～2か月の間で髪を染めに行くこともわかった。さらに1回の美容院にかかる値段も調査した

ところ、7000円～1万かけている人が最も多いことがわかった。

(4) 髪の毛で気にかけている点で最も多かったのは髪質である。

髪の毛で1番気にかけている点で最も多かったのは髪質であった。この設問とは別で自分で行っている手入れについて質問をしたところ、手入れをしている人は100人中74人いることが調査の結果からわかった。

(5) 美容室に行くきっかけで多かったのはカットとカラーである。

美容室に行く理由として最も多かったのがカットとカラーのためである。カットについては、(1)の調査結果で髪が長い女子大学生が多いが関係してくると思われる。カラーについては、髪の毛を染める理由として地毛が伸びてきたため、と答えた人が多かったが、これは大半の女子大学生が髪の毛を染めているからということが想定される。この調査は次の(6)の調査結果に関係してくる。

(6) 髪を染めたことがある人は全体の約85%を占めた。

髪の毛を染めたことがある人は約85%を占めることが分かった。髪の毛を染めた時期を質問すると高校卒業後が最も占めていることがわかった。また、大学生になってから染めた人も多かった。

(7) 髪の毛を今まで染めたことがない人で、染めようと思った人の方が多いがその一方で染めない人も4分の1ほどいる。

髪色を染めた人が多い一方で黒髪のまま、と回答をした人もいた。その中で髪を染めてみたいと答えた人は約70%いたことがわかった。

調査結果について

<調査概要>

- ・調査対象：女子大生1～4年生
- ・調査方法:Google フォームを利用したインターネット調査
- ・調査期間：2018年6月4日～2018年6月7日
- ・有効回答者数：132人
- ・回答者の属性：【学年】1年生:30人 2年生:22人 3年生:80人 4年生：0人

本件調査担当

実践『ペルソナ』研究会

3年 星野友紀奈

堀江理菜

松岡資佳

調査結果データ

(1) 女子大学生の約半数がミディアムヘアである

女子大学生に現在の髪の毛の長さを調査したところ、約半数の女子大学生が現在ミディアムの長さであると回答した。次いで多かったのがロングであった。このことから、女子大学生

は長い髪の毛を好む傾向があることがわかる（図1）。

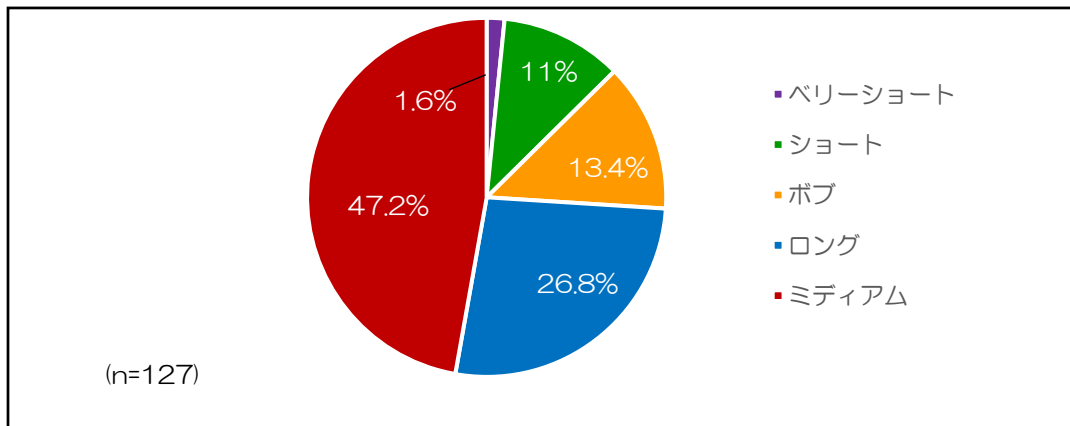


図1 現在の髪の毛の長さ

(2) 髪色でもっとも多いのは暗い茶色である。

女子大学生の現在の髪の毛の色を調査したところ、最も多かったのが暗い茶色で全体の45%を占めた。次いで多かったのが、明るい茶色の27.9%、3番目に多かったのが黒の24.8%であった。共通して茶色、黒と無難な色が人気であることがわかった。（図2・3）。

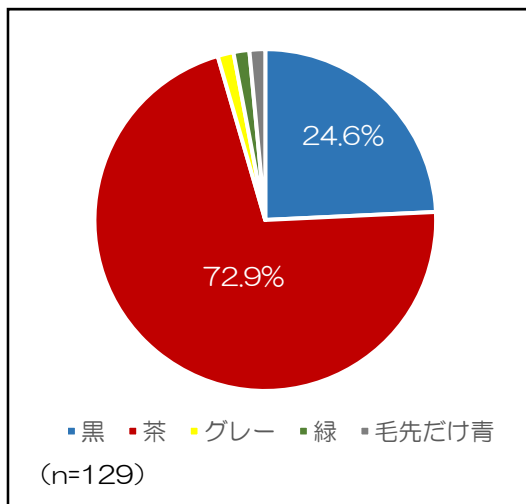


図2 髪の毛の色

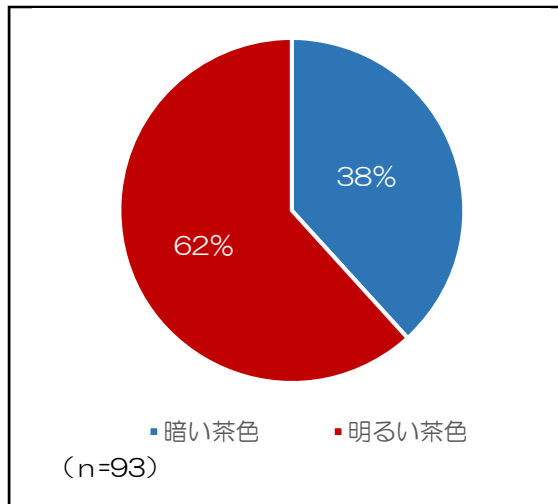


図3 茶色の内訳

(3) 髪を美容院で染める人の割合が多い。

髪の毛を染める際、美容室に行って染めるかどうか調査したところ、約9割（89.9%）の人が美容室に行って髪の毛を染めることがわかった（図4）。

さらに美容室に行く回数を調査すると、1カ月～2カ月に1度美容室に行く割合が68%と高いことがわかった（図5）。

また、美容室に行く際、1回につきどのくらいのお金をかけているか調査したところ、7000円～1万円と答えた人が39%、5000円～7000円と答えた人が24%であることがわかった（図6）。

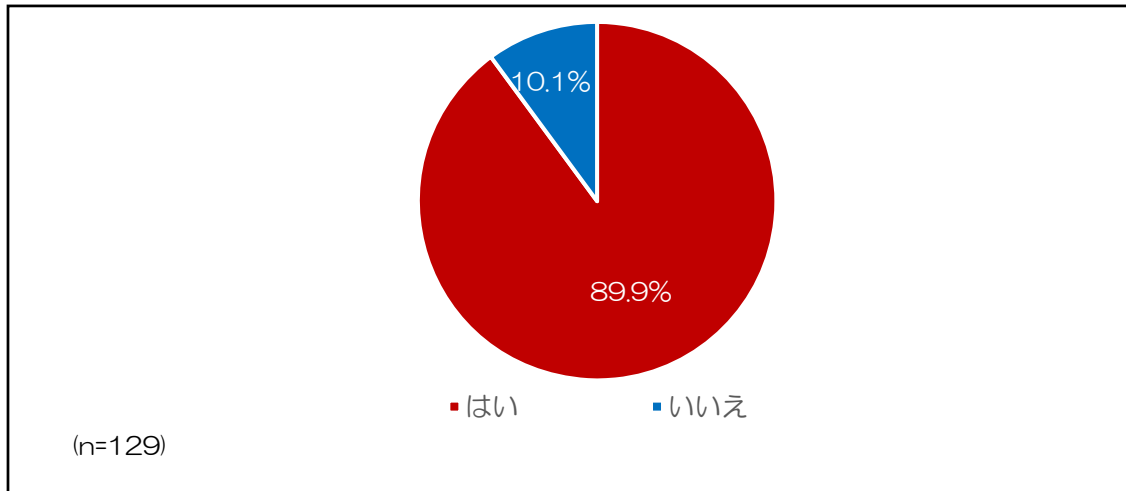


図4 髪の毛を染める際美容室に行くかどうか

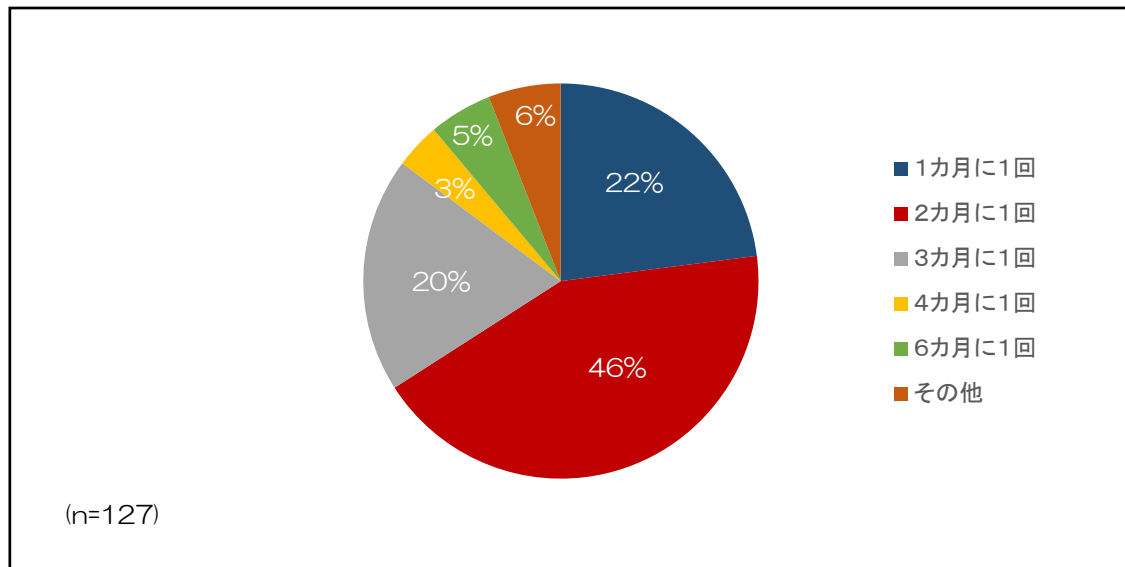


図5 美容室に行く頻度

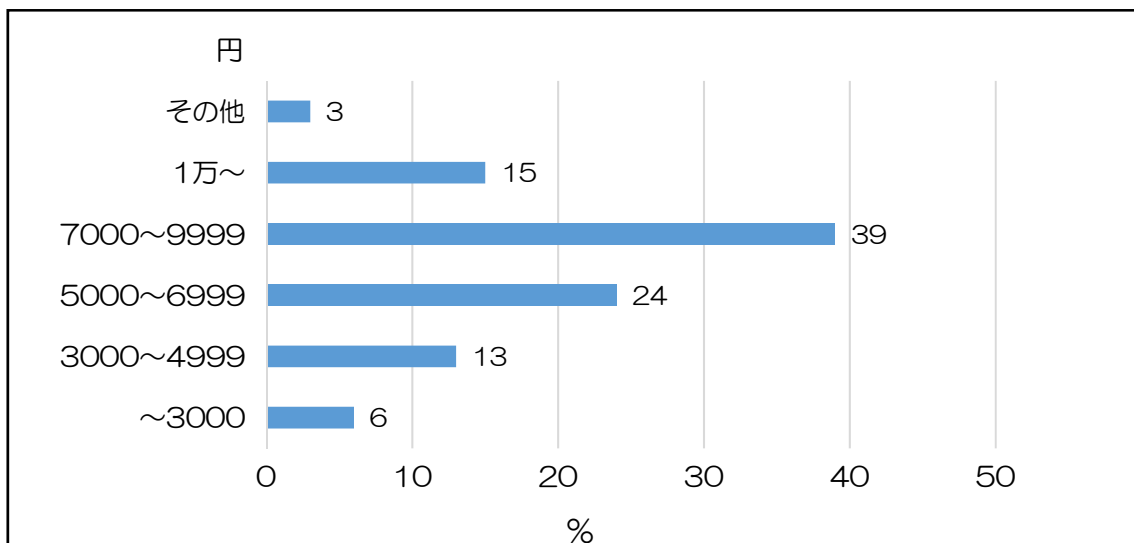


図6 一度の美容室にかかる金額

(4) 髪の毛で気にしている点で最も多かったのは髪質である。

髪の毛で気にしている点を調査したところ、髪質と答えた人が最も多かった。(図7)。

また、他の設問で髪の毛を自分で手入れしている人は100人中74人いた(図8)。さらに、74人に手入れの方法を聞いたところ、トリートメントをしている人が57%と最も多く、次いでヘアオイルでケアしている人が26%と多かった(図9)。この調査から、女子大学生は髪質を一番気にしているため、自分でもトリートメントなどのケアをしているのではないかと推測できる。

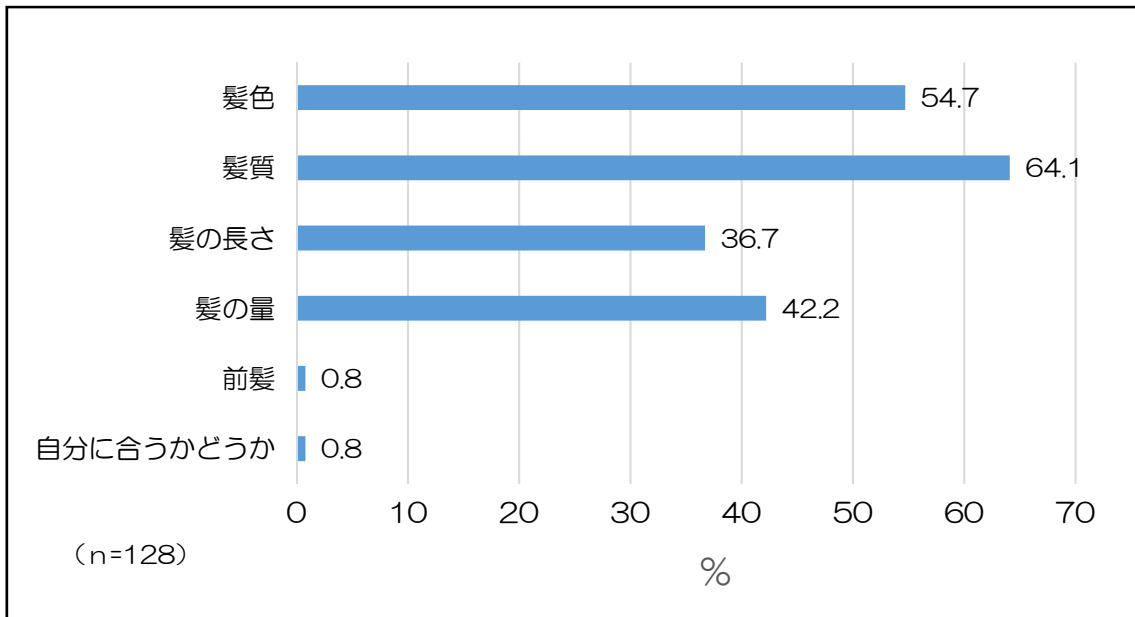


図7 髪の毛で気にしている点はどこ

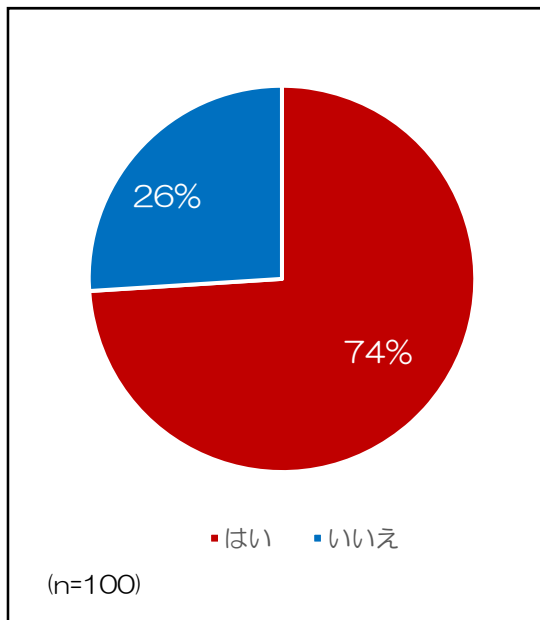


図8 自分で髪の毛の手入れをしているか

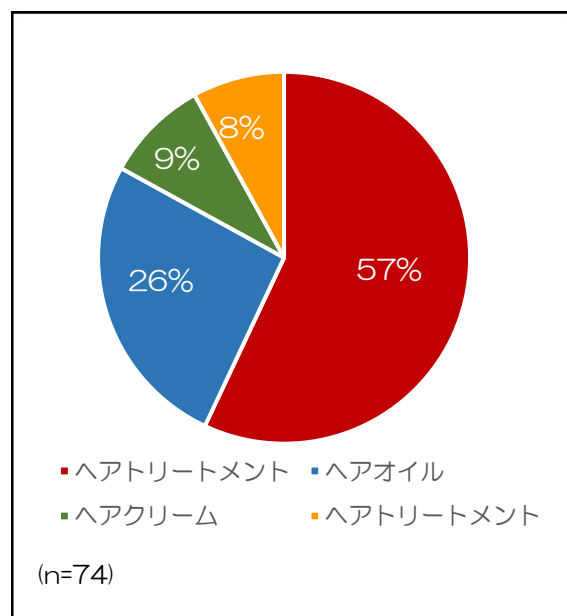


図9 どのような手入れをしているか

(5) 美容室に行くきっかけが多かったのはカットとカラーである。

美容室に行くきっかけを調査したところ、126人から回答が得られた。最も多かったのが髪を染めるためと回答した人である。これは全体の40%を占めた。次いで多かったのが、髪を切るためと回答した人であった。これは全体の36%を占めた(図10)。

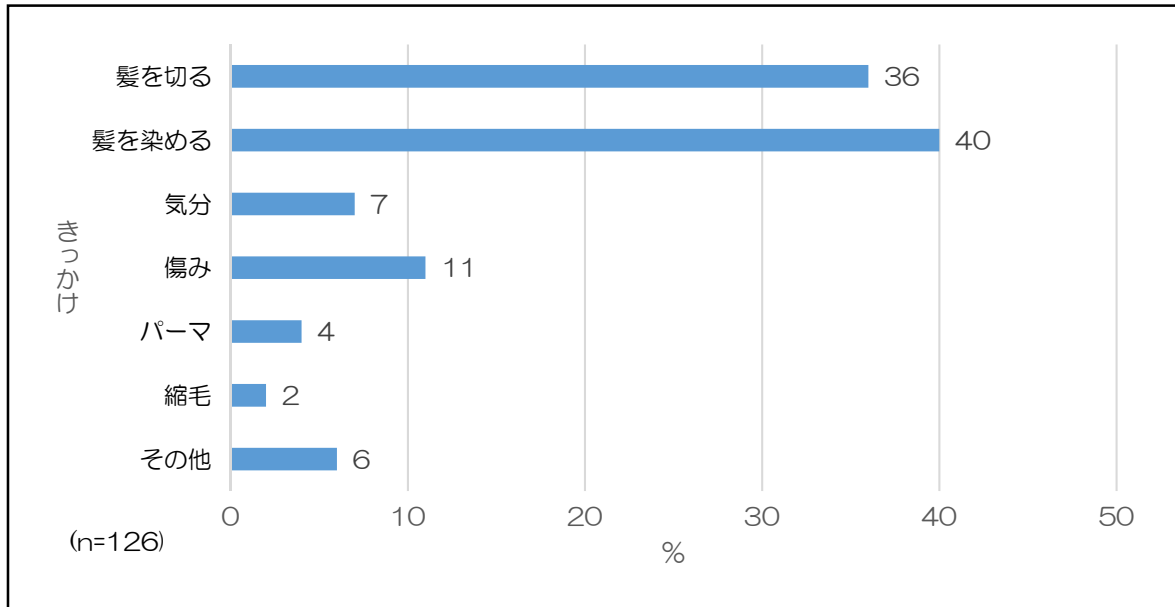


図10 美容室に行くきっかけ

(6) 美容院に行く頻度と金額の関係性

美容院に行く回数が1. 2か月に1度行く人と3~6か月に1度行く人の1回にかかる料金の比較をしたところ、1. 2か月に1度行く人の方がかかる料金が少ないことがわかった。これは美容院に行く回数が多いため、毎回カット・カラー・トリートメントといったことをする必要がないからではないかと推測することができる(図11・12)。

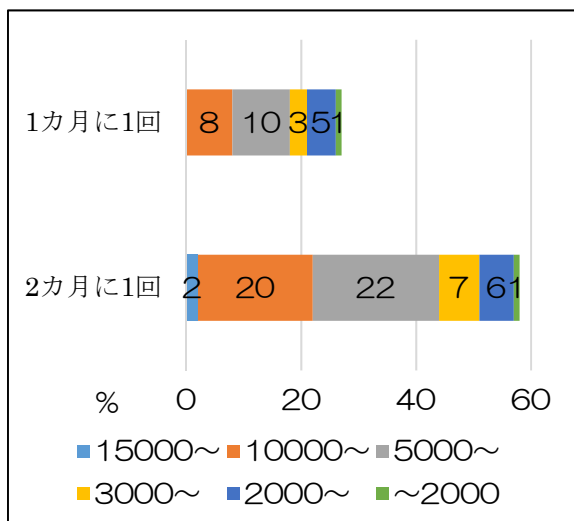


図11 1,2か月に1度美容室に行く人がかける費用

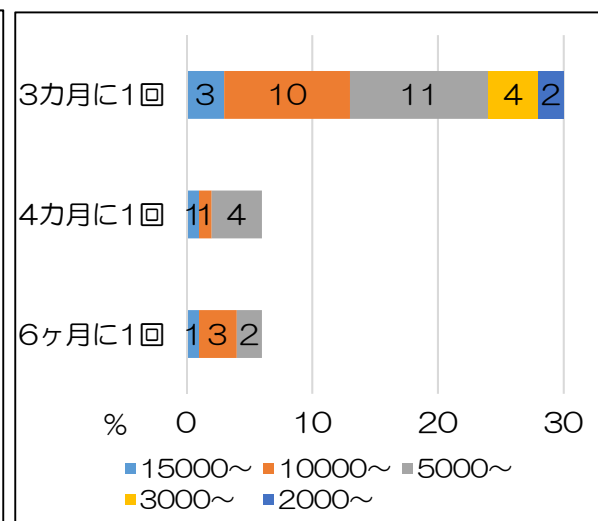


図12 3~6か月に1度美容室に行く人がかける費用

(7) 髪を染めたことがある人は全体の約85%を占めた。

今まで髪を染めたことがあるか調査したところ、129人のうち86.8%の人が染めたことがあると回答した(図13)。

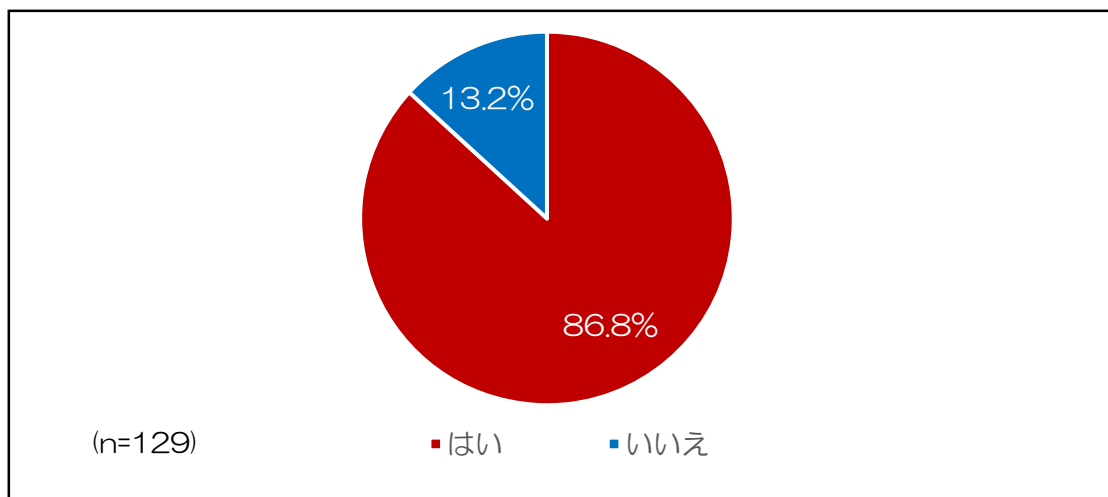


図13 髪の毛を染めたことがあるか

(8) 髪の毛を今まで染めたことがない人で、染めようと思った人の方が多いがその一方で染めない人も4分の1ほどいる。

(7)の調査結果から髪色を染めた人が多かったがその一方で髪色を染めたことがない人がいたため、そこに着目してさらに調査した。髪の毛を染めたいと考えている学生は全体の約70%いたことがわかった(図14)。また、染めない理由も聞いたところ、手入れが大変、汚くなりたくない、髪色がもともと明るいから、髪色を染めることによって髪が痛むから、などの理由が挙げられた。

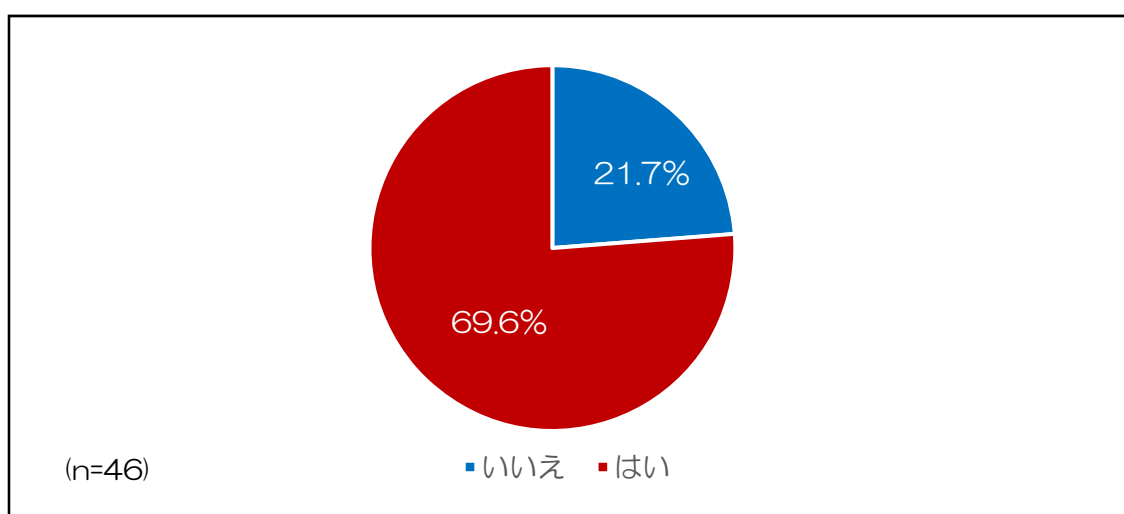


図14 (髪の毛を今まで染めたことがない人対象) 髪を染めたいかどうか

考察

女子大生の髪の毛の長さは、ミディアムやロングが全体の7割以上を占めていることから、長めのヘアスタイルを好む傾向にあると考えられる。髪色は、茶色や黒などの無難な色にする人が多く、髪の毛のトーンの変化によって個性を出していることがわかる。

美容院に行くきっかけとしてはカットやカラーが大半を占め、ほとんどの人がセルフではなく美容院に出向いて髪を染めていることがわかった。美容院に行く頻度は、平均して「1~2カ月に一回」、かける費用は「約7千円」程度であることがわかった。多数の人が髪質を気にしている一方で、カットやカラーなどのヘアスタイルや髪色の“変化”を目的に美容院に行く人がほとんどであり、髪の毛の悩みに適した手入れを自分でも行っているという人が7割以上もいることが明らかになった。

髪を染めたことがある人が全体の85%を占める一方、今までに染めたことがなく、染めたい気持ちはあるが、染めないという人も一定数いることがわかった。もともとの髪色を生かすことにより、本来の自分のままで個性を出すことができ、さらに髪へのダメージを軽減できるため、髪の毛を綺麗に保てるというメリットもあるのではないかと考えられる。